

『光る君へ』から 源氏物語の世界へ

藤原道長の娘、彰子に仕えた紫式部は、どのような経験や思索を経て、「光源氏」の物語を書き続けたのでしょうか。そして彼女にとって道長という人はどのような存在だったのでしょうか。大河ドラマ『光る君へ』と平安時代の資料、そして源氏物語を比較しながら、紫式部の人間観や社会観について考えます。



「源氏物語手鑑」(胡蝶) 和泉市久保惣記念美術館蔵
和泉市久保惣記念美術館デジタルミュージアムから引用
※光源氏の邸宅、六条院での春の催しが描かれている

★ 講師 伊丹市高齢者大学講師 文学博士

朝日 眞美子氏

★ 日時 令和6年6月30日(日)13:30～15:00

★ 場所 サンシティホール2F 講座室(1)

★ 対象者 中学生以上の伊丹市民

★ 定員 32名(申込者多数の場合は抽選)

★ 費用 500円

★ 締切日 6月20日(木)必着

※天候、その他により日程等変更になる場合があります。

講師 文学博士 朝日 眞美子氏

大阪市立大学大学院国文学専攻後期博士課程修了。研究テーマは、「源氏物語における先行文学の利用、登場人物の判断基準と行動原理」。梅花女子大学・京都橘大学などの非常勤講師、市民大学講座講師を務めて、学会発表や論文執筆を続け、令和2年に「源氏物語の表現と和歌」で博士号を取得。伊丹市に関しましては、サンシティホールにおいて、高齢者大学講座「源氏物語を読む」を22年間継続して講義していただいております。

申込方法: 「往復はがき」又は「FAX」又は「メール」にて住所・氏名(ふりがな)電話番号(FAX番号)を記入し「特別文学講座」係と明記し下記までお申込み下さい。《窓口受付(はがき持参)も可です。電話不可》

送付先: 〒664-0023 伊丹市中野西1-148-1 サンシティホール

TEL: 783-2350 FAX: 785-2461 メールアドレス: sunhall@bca.bai.ne.jp